

平成22年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校3年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)		数と計算 2年	A (1) ウ 数の相対的な大きさ	百を単位として、数の大きさをとらえることを理解していること。				○	○	
②		(2)		数と計算 2年	A (3) イ 乗法に関して成り立つ性質	乗数が1増えるとき被乗数の大きさずつ増えることを理解していること。				○	○	
③	2	(1)		数と計算 3年	A (2) イ 加法の計算（新）	4位数＋4位数の繰り上がりのある加法の計算ができること。			○		○	
④		(2)		数と計算 3年	A (2) イ 減法の計算	3位数－3位数の繰り下がりのある減法の計算ができること。			○		○	
⑤		(3)		数と計算 3年	A (4) イ 除法の計算	乗法九九を1回使った除法の計算ができること。			○		○	
⑥	3			数と計算 3年	A (3) ウ 乗法に関して成り立つ性質	並んだ○の数の求め方を考えることができること。		○				○
⑦	4	(1)		数と計算 3年	A (4) ア 除法が用いられる場合	除法の余りの意味を考え、必要なグループの数を考えることができること。		○				○
⑧		(2)		数と計算 3年	A (3) イ 乗法が用いられる場合	乗法を用いて、発表の時間を求めることができること。			○		○	
⑨	5	(1)		量と測定 3年	B (1) ア 長さの単位	巻き尺の正しい使い方について、理解していること。				○	○	
⑩		(2)		量と測定 3年	B (1) ア 長さの単位	長さの単位を用いて、布のたての長さを求めることができること。			○		○	
⑪		(3)		量と測定 3年	B (1) ア 長さの測定	棒全体の長さが等しいとき、布がない部分の棒の長さから布の縦の長さの比べ方を考えることができること。		○				○
⑫	6	(1)		量と測定 3年	B (1) ウ かさの単位	1人分2 d l × 3 = 6 d l 使うときの、5人分の水のかさを l で表すことができること。			○		○	
⑬		(2)		量と測定 3年	B (1) ウ かさの単位	歯磨きに使用する水の量について、ひろしさんが調べたことを使って考えようとする事。	○					○
⑭	7	(1)		量と測定 3年	B (3) イ 時刻や時間を求めること	出発した時刻と歩いた時間からお城に着いた時刻を求めることができること。			○		○	
⑮		(2)		量と測定 3年	B (3) イ 時刻や時間を求めること	学校に帰り着いた時刻と帰りにかかった時間から、お城を出発した時刻を考えることができること。		○				○
⑯	8	(1)		図形 2年	C (1) ウ はこの形（新）	箱の形の辺の個数や長さの関係について理解していること。				○	○	
⑰		(2)		図形 2年	C (1) ウ はこの形（新）	箱を見て、面の個数や関係を考えることができること。		○				○
⑱		(3)		図形 2年	C (1) ウ はこの形（新）	身の回りにある箱の形を観察しようとしていること。	○					○
⑲	9	(1)		数と計算 2年	A (1) オ 簡単な事柄の分類整理	簡単な事柄を分類整理し、表に整理することができること。			○		○	
⑳		(2)		数と計算 3年	A (4) ア 除法が用いられる場合	除法の考え方などを用いて何倍かを考えることができること。		○				○